

再発見!

を訪ねて

豊平区で最も長い歴史を持つ豊平地区。札幌の中心部に近いこの地区は、交通の要衝として、また、大きな商店街のある、商業・工業のまちとして発展してきました。

今回はそんな豊平地区の歴史や、地域住民の方々の取り組みをご紹介します。

▼鉄橋に架け替えられた旧豊平橋



歴史あるまち・豊平

豊平地区の歴史は今から150年以上前、江戸時代の安政4(1857)年、「札幌開祖」と呼ばれる志村鉄一が豊平川の渡し守に任命され、その後、定住したことが始まりです。

明治時代に入ると開拓が始まり、明治7年に豊平村が誕生しました。他村との合併を経て、同41年には町制が施行されて豊平町に改称。さらに同43年には、豊平地区は当時の札幌区へ編入しまし

た。その後、定山溪鉄道の開通、豊平橋の鉄橋架け替えなどにより交通の要衝となりました。そして、室蘭街道(現在の国道36号)沿いをはじめとして大規模な商店街が形成され、商業・工業のまちとして栄えました。

現在も豊平地区は利便性が高く、「北海きたえーる」や豊平公園などの公共施設のほか、北海学園などの広大な文教施設を擁する、暮らしやすいまちになっています。

豊平町役場跡

明治43年に豊平地区が札幌区に編入されるまで、町役場はここにありました。

豊平神社

豊平

豊平公園

北海きたえーる

地下鉄東豊線

豊平公園駅

豊平警察署



豊平まちづくりセンター

豊平地区まちづくり活動の拠点。まちづくりに参加したい方はぜひお越しください。

きれいなまち・豊平

豊平地区では、清潔で住みやすいまちをつくるため、さまざまな活動を行っています。
「まずは自分の住む場所をきれいにしよう」という考えから、日ごろから小まめに清掃を行い、さらに春・夏・秋の年3回、豊平地区全域の一斉清掃も行っています。これには広く、地域住民や地元企業も積極的に参加しています。
また、一人暮らしの方なども多く住む、既設の小規模な共同住宅の敷地内にもごみステーションを設置してもらい、ごみの分け方や

まちづくりの掲示板ができました



地下鉄学園前駅構内に「豊平地区のまちづくり」掲示板が設置されました。豊平地区の歴史や、まちづくり活動について知ることができます。